

令和5年度 第2回 新潟大学研究シーズプレゼンテーション ～カーボンニュートラル・J-クレジットへの挑戦～

お申し込みはこちらから

オンライン開催
参加費無料



2024.1.26 (金)

15:00～17:00

(受付開始: 14:45)

<https://forms.office.com/r/P8gmYpT2F8>

締切: 2024.1.23(火)

①新潟大学自然科学系(工学部)・准教授・中野智仁

「熱電変換材料のしくみと可能性」

15:05

15:40

物質に温度差があると、物質内部に電子の偏りができて電池化する。そんな熱電変換材料についてお話ししたい。科学技術の発展とともに、我々人類はエネルギー、特に電気エネルギーを手放すことが出来なくなってしまった。発電手段は多様であるがどれもリスクがあり、場所、状況といった環境に応じて使い分ける必要がある。本講演では熱電変換材料のしくみを踏まえ、その可能性について議論する。

②新潟大学自然科学系(工学部)・助教・小松博幸

「ハイドレートスラリーを用いた環境調和型のCO2分離回収プロセス」

15:40

16:15

ハイドレートは水分子からなるカゴ状構造の中にガス分子を選択的に取り込むことができる氷のような固体です。そのため、室温以下で安価かつ安全にCO2を分離回収することができます。これを水に分散させたスラリーを流通させて運用するためにはハイドレートの凝集を抑えつつ、効果的にCO2を分離回収する条件を明らかにする必要があります。本講演では、ハイドレートスラリーの物性や特性、プロセスの概要について紹介します。

③新潟大学社会連携推進機構・特任教授・藤巻義博

「あらたな収入アップと地球環境を守る社会貢献を同時に実現する排出権取引とは」

16:15

16:50

今年の新潟は異常な高温と少雨に悩まされコメの収穫は大打撃を受けました。それは温室効果ガスによる気候変動が影響したと言われてはいますが、政府も削減を加速させる為に強制的に税金を掛ける動きもあります。それに対応すべく、排出権の金銭化(クレジット)を導入して新たな収入アップと地球環境を守ることを同時に実現していくことが可能になります。今回はその辺りをわかりやすくかつ実践的な手法をご説明します。

主催: 新潟大学社会連携推進機構

後援: 新潟大学東京イノベーションクラブ・新潟大学産学連携協力会

【お問い合わせ】

新潟大学社会連携推進機構

TEL: 025-262-7634

E-mail: onestop@adm.niigata-u.ac.jp

